

レポーター：リニューアルした「みたいけんラボ」にやってきました。学芸員の松村さんです。よろしくお願いします。

学芸員：よろしくお願いします。

レポーター：松村さん、こちらでは様々なアジアの国の楽器ですか。

学芸員：そうですね。いろんな国の楽器が置いてあります。

レポーター：こちらの楽器を演奏したりだとか、こんな感じでアジアの様々な民族衣装を着ることができるんですね。

学芸員：はい。この部屋にあるものは自由に触ってもらえることができます。

レポーター：楽しみですね。ちょっと松村さん、まず楽器いろいろ教えてください。

学芸員：どんな楽器がいいでしょう。

レポーター：私ですね、これが一番気になったんですけど。

学芸員：これですか。

レポーター：これはまずどこの国の楽器なんですか。

学芸員：これはインドネシアの楽器です。

レポーター：インドネシア。なんていう名前なのでしょう。

学芸員：これはアングルンといいます。

レポーター：アングルン。竹で作られています。

学芸員：どうやって使うかわかりますか。

レポーター：それがすごく聞きたいんです。どうやって使うんですか。

学芸員：ちょっとやってみましょうか。

レポーター：はい。やってみてください。お願いします。

学芸員：これですね、一回取り外します。

レポーター：えー、そうなんですか。

学芸員：取り外して。ここをこう持って。これをですね、みんなで合奏なんかしたりするととっても楽しいですよ。

レポーター：これは一人で演奏するのではなくてみんなで。

学芸員：はい。音階が決まっていますのでそれぞれ。それぞれがハンドベルみたいな感じでこうすると。

レポーター：こう順番に。是非やってみたいです。こちらから低い音高い音があるんですか。

学芸員：こういう風に持って、振ります。

レポーター：音が違いますね。うわあ、すごい。これは2個くらい持っても。

学芸員：大丈夫ですよ。

レポーター：楽しいですね。このような感じで、なんかインドネシアにいった気持ちになりますね。

学芸員：竹のとっても気持ちいい音がするでしょう。

レポーター：これが。アン。

学芸員：クルン。

レポーター：アンクルン。続いてたくさん気になるのがあるんですけど、こちらは。

学芸員：いわゆる馬頭琴。教科書でスーホーの白い馬ってありますよね。

レポーター：はい、学びました。

学芸員：あの馬頭琴です。モンゴルで、モリンホールといいます。

レポーター：モリンホール。

学芸員：これは。

レポーター：弦が2本ですね。

学芸員：そうですね、ちょっと弾いてみますか。

レポーター：はい、私にもできますか。

学芸員：これで少し弦を張ってもらって。

レポーター：はい。

学芸員：ここを擦ってみてください。

レポーター：はい、やってみます。これはこの高さによって音が変わったりするんですか。

学芸員：これはですね。ここ、指で、指の爪のところでぐうっと横から押すんですね。

レポーター：音が変化しましたね。すごい。

学芸員：私も弾けないんですけど、一応音はなります。

レポーター：楽しいですね。こちらがモンゴル。こんな風に手を添えて。楽しい。こちらの弦は。

学芸員：馬のしっぽの毛です。

レポーター：できてるんですか。すごいですね。ここも馬になってますね。小さなお子様でも簡単にできますね。

学芸員：そうですね。

レポーター：続いては操り人形が体験できるコーナーにやってきました。すごいですね。こちらはどこの国の人形が。

学芸員：インドの操り人形です。

レポーター：インド。手が4本。

学芸員：4本ありますね。すごい神様ですね。

レポーター：神様のお人形。すごい。難しくないですか。

学芸員：どうぞやってみてください。

レポーター：やってみます。これは、この前の棒を動かすと。

学芸員：前の下の方の手ですね。

レポーター：はい、ちょっとやってみます。

学芸員：これをこうねじる感じ。

レポーター：ねじる。すごい。楽しいですね。インドへおいで。これは、お顔を動かしたりするのは。

学芸員：お顔はあまり動かないのですが、手でこうやって。後ろをするとこうなっちゃいますね。

レポーター：お辞儀をしたようになるんですね。すごい。全然また日本の操り人形と違いますね。

学芸員：そうですね。

レポーター：衣装もそうですが、表情も。色も。

学芸員：とってもカラフルですしね。

レポーター：こちらは。

学芸員：これは、インドネシアのワヤンゴレというものです。

レポーター：ワヤンゴレ。

学芸員：はい。この中に棒があって。ここに手を入れてもらって。棒でこうなります。

レポーター：すごい。生きてるみたいですね。

学芸員：はい。やってみますか。

レポーター：やってみます。この中の棒をこう動かすとお顔が動くんですね。

学芸員：動いちゃいます。

レポーター：なんか踊っているみたいですね。楽しい。インドネシアのお人形。また国によって全然違うんですね。よくインドネシアではこういう操り人形を使って演劇を。

学芸員：そうですね。あのいろんなところでですね、こういった人形操りやっていますね。こういった木で作った人形だけではなくて、横に、これはタイのものですが、影絵の人形芝居であったりとか。いろいろあります。

レポーター：影絵の人形。

学芸員：どうぞ。

レポーター：ありがとうございます。すごい、薄いですね。これは何でできているんですか。

学芸員：皮でできてるんですね。

レポーター：皮、皮ですか。すごい色もきれいですね。これは、このような感じで。

学芸員：そうですね。

レポーター：動かして。

学芸員：こんな感じでスクリーンのところで動かして。こういう風にできますね。まあ実際にスクリーンも準備してありますので、自分達で影絵芝居をやっちゃうことも可能です。

レポーター：こちらでできるんですか。

学芸員：はい。

レポーター：こちらで実際に影絵を体験することも。

学芸員：できます。

レポーター：楽しいですね。様々な国の人形で演じることもできる。皆さん是非足を運んでみてください。